令和２年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No.	21-004		
PDCA	事務事業名	健康づくり推進事業	
部課等名	健康子ども部 保健センター 健康担当	担当	新美
		内線等	84-0646

P 総合計画との関係性等

政策体系	章： 第２章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第３節 健康増進と医療体制の充実 基本施策： １．健康づくり 単位施策： （１）一人ひとりの健康資源を増やす取り組み 個別施策： ②個人の健康資源の開発
根拠法令等	健康増進法
対象・目的	64歳までの市民を対象に、自らが積極的に健康づくりに取り組める環境の整備をし、必要な保健指導及び支援を行うことで、各個人のセルフケア能力を高め「自分の健康は自分で守る」を実践できることを目的とする。また第2次健康はんだ21計画推進を図る。
目的を達成するための手段・活動内容	・保健師・歯科衛生士・栄養士等による、総合的な健康づくりの教育・相談 ・委託事業：健康づくりリーダーによる健康体操、食生活改善推進員による料理教室 ・健康づくり市民ボランティアの養成・育成及び活動支援 ・はんだ健康マイレージポイント事業において、より健康づくりの推進につながるようなポイントの貯め方やインセンティブの充実を図る。

D 前年度の活動結果と見られた成果

活動結果

活動実績	29年度	30年度	元年度	単位
①健康教育・健康相談実施回数	163	177	221	回
②健康づくり市民ボランティアによる健康教育実施回数	49	53	56	回
③半田市健康サポーター登録数	86	104	101	人
事業費	1,174	1,742	1,794	千円
人件費	15,263	19,987	20,183	千円
総事業費	16,437	21,729	21,977	千円

活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位
①健康教育・健康相談の一人あたりのコスト	3,021	3,830	2,586	円
②健康づくり市民ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱによる健康教育参加者1人	1,122	1,530	1,074	円
③				

成果

成果指標		29年度	30年度	元年度	単位
①健康教育・健康相談参加延べ人数	**実績値**	4,430	3,688	5,525	人
	目標値	4,600	4,600	6,900	
②健康づくり市民ボランティア新規登録者数	**実績値**	13	23	25	人
	目標値	10	20	15	
③はんだ健康マイレージカード交付延べ人数	**実績値**	111	1,140	906	人
	目標値	—	200	1,200	

C 課題の整理

観点別評価

必要性		有効性		効率性	
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		※対象・手段の変更
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない

事業の評価・課題

C

・愛知県野菜摂取ワースト１をうけ、児童センター・幼稚園・各種イベント等で野菜の手ばかり目ばかりを新たに実施したため、健康教育・健康相談実施回数・人数の増加につなげることができた。
・健康づくり市民ボランティア新規登録者数の目標は達成できた。自ら健康づくりに取り組む市民を増やすとともに、市民協働で健康づくりを推進していくために、市民ボランティアの養成及び育成を今後も継続していく必要がある。
・はんだ健康マイレージについては、協賛店が増加しインセンティブの充実を図った。令和元年度より、無制限の申請から最大１人４回までの申請回数を設定することによって、マイレージカード延べ人数が減少したと考えられる。インセンティブの充実と事業の周知により、引き続き無関心層に対する仕組みづくりを行う必要がある。

A 課題解決のための目標

今後の事業の方向性

改善推進

年齢を問わず市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを総合的に推進していくため、令和２年度より本事業に地域自殺対策強化事業・介護予防普及啓発事業を一本化する。今後は、市民の健康度を上げ医療費の削減・健康寿命の延伸につなげるとともに、生きることの選択ができるような事業を充実させることにより、自殺者の減少につなげていく。

令和２年度の目標

成果指標	目標値	単位
①はんだ健康マイレージカード交付延べ人数	1,200	人
②メタボリックシンドローム該当者率	23	%